

_____ 月 _____ 日 () _____ 名前 _____

1 教科書 28 ページの問題を声に出して読みましょう。また、レンガや植木ばちを積み重ねていくと、高さがどのように変わるのかを考えましょう。

2 教科書 29 ページ 1 を声に出して読みましょう。

(1) 積む数と全体の高さの関係を、表にかきましょう。

レンガの数と全体の高さの関係							
レンガの数 (個)	1	2	3	4	5	6	
全体の高さ (cm)	3						

植木ばちの数と全体の高さの関係							
植木ばちの数 (個)	1	2	3	4	5	6	
全体の高さ (cm)	12						

(2) レンガの数が2倍、3倍になると、全体の高さはどのように変わりますか。□に当てはまる言葉を書きましょう。

レンガの数が2倍、3倍、…になると、それにもなって、全体の高さも

になります。このようなとき、

レンガの全体の高さは、レンガの数に といいます。

(3) 植木ばちの数が2倍、3倍になると、全体の高さはどのように変わりますか。

(4) (1)～(3)をもとに、わかったことをまとめましょう。

表に整理して、積む数が 倍や 倍になったときの
高さを調べると、 しているかどうかがわかる。

3 教科書 30 ページの 2 の問題に取り組みましょう。

高さ (cm)	1	2	3	4	5	6	
体積 (cm ³)	20						

_____月 _____日 () 名前 _____

1 教科書 31 ページ 3 を声に出して読みましょう。

(1) 表にかいて調べましょう。

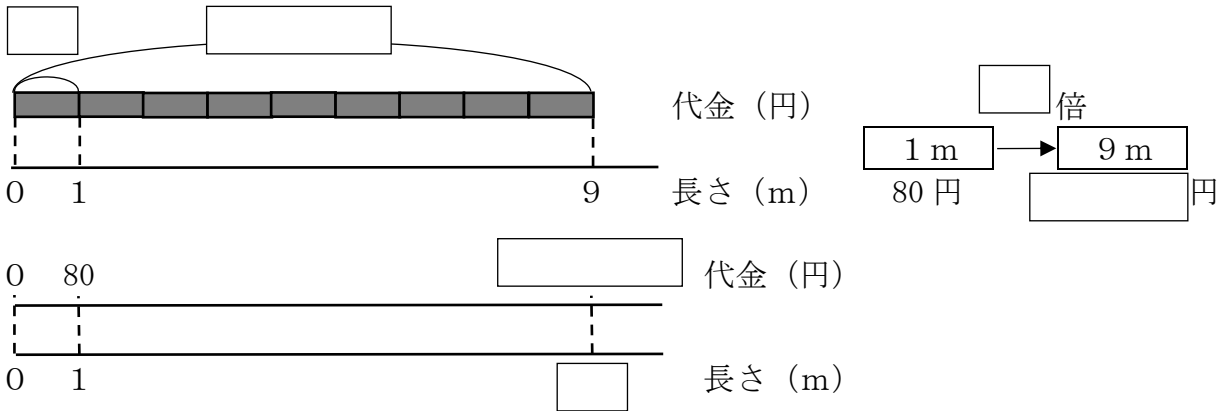
長さ (m)	1	2	3	4	5	6	
代金 (円)	80						

リボンの長さが 2 倍、3 倍、……になると、それにともなって

代金も 2 倍、3 倍、……になるので、代金は長さに

(2) だいちさんは、長さが 9 m のときの代金を、 80×9 という式で求めました。

教科書の図を見て、次の図を完成させましょう。



(3) 長さが 9 m のときのリボンの代金が、 80×9 の式でよいわけを □ に言葉を入れて説明しましょう。

リボンの代金は長さに

ので、リボンの長さが 9 倍に

なると、代金も

になります。

(4) 教科書 31 ページの ㊦ の問題に取り組みましょう。

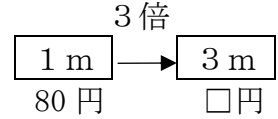
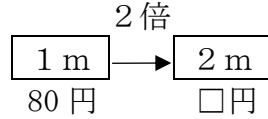
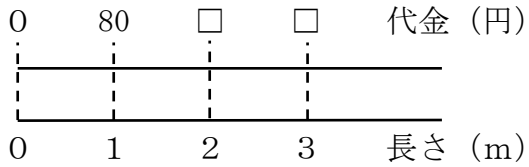
式
図

説明
<hr style="border: 0; border-top: 1px solid black; margin-bottom: 5px;"/> <hr style="border: 0; border-top: 1px solid black; margin-bottom: 5px;"/> <hr style="border: 0; border-top: 1px solid black; margin-bottom: 5px;"/> <hr style="border: 0; border-top: 1px solid black; margin-bottom: 5px;"/>

_____ 月 _____ 日 () _____ 名前 _____

1 教科書 34 ページの問題を声に出して読みましょう。

(1) 2 mや3 m買ったときの代金はそれぞれ何円ですか。



2 mでは、 $80 \times 2 =$ 円

3 mでは、 $80 \times 3 =$ 円

(2) 代金を求める式をことばの式で表しましょう。

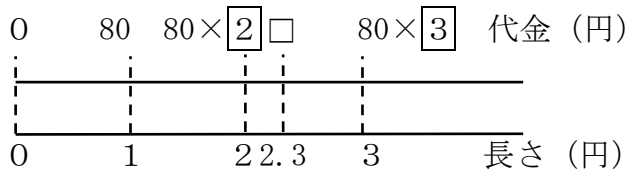
1 mのねだん \times $=$

2 教科書 35 ページ **1** を声に出して読みましょう。

(1) 代金を求める式をかきましょう。また、その式になるわけを説明しましょう。

式

説明



(2) 教科書 35 ページを読んで、かける数が小数のときの式についてまとめましょう。

月 日 () 名前 _____

1 80×2.3 の計算をしましょう。

(1) 教科書 36 ページを読んで、計算の仕方を考えましょう。

ア だいちさんの考え 2mと0.3mに分けて考える

1 mのねだんは 80 円だから、
 2 mの代金は、 $80 \times 2 = 160$
 0.3mの代金は、0.1mの代金の3倍
 だから、 $(80 \div 10) \times 3 =$
 あわせて、 $160 +$ $=$
 円

イ ひなたさんの考え 0.1mの代金の23倍と考える

0.1mの代金は、 $80 \div 10$
 2.3mの代金は、その23倍だから、
 $80 \times 2.3 = (80 \div 10) \times 23$
 $=$
 円

ウ かいとさんの考え 23mの代金の $\frac{1}{10}$ と考える

2.3mの代金は、 80×23
 2.3mの代金は、その $\frac{1}{10}$ だから、
 $80 \times 2.3 = (80 \times 23) \div 10$
 $=$
 円

(2) (1) で考えた計算のしかたについて、よいところや似ているところを考えましょう。

(3) 教科書 37 ページを読んで、計算のしかたをまとめましょう。

小数をかける計算は、 のしかたをもとにして
 考えることができます。

2 教科書 37 ページの の問題に取り組みましょう。

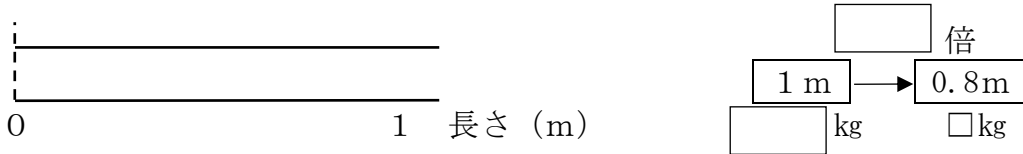
①式

②計算

_____ 月 _____ 日 () _____ 名前 _____

1 教科書 38 ページ **1** を声に出して読みましょう。

(1) 教科書の図を見て、次の図を完成させましょう。



(2) 答えは、3 よりも大きくなりますか。小さくなりますか。

(3) 式にかきましょう。

(4) 8 m の重さの $\frac{1}{10}$ と考えて、計算しましょう。

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> $3 \times 0.8 = \square$ </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"> $\downarrow \times 10 \quad \downarrow \times 10$ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> $3 \times 8 = \square$ </div> <div style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</div> <div style="vertical-align: middle;"> $\div 10$ </div>	<p>8 m の重さは、3×8</p> <p>0.8 m の重さは、その だから、</p> <p>$3 \times 0.8 = (3 \times 8) \div 10$</p> <p style="text-align: center;">= kg</p>
---	--

2 教科書 38 ページ **2** を読みましょう。

(1) それぞれの重さを、式にかいて計算しましょう。

㊤ $3 \times 0.5 =$

㊦ $3 \times 0.8 =$

㊧ $3 \times 1 =$

㊨ $3 \times 1.5 =$

㊩ $3 \times 2 =$

(2) (1) の結果と教科書 39 ページをもとに、かける数と積の大きさの関係をまとめましょう。

かける数 > 1 のとき、

かける数 $= 1$ のとき、

かける数 < 1 のとき、

3 教科書 39 ページの **3** の問題に取り組みましょう。